

第 2 6 回 定 時 総 会 資 料

日 時 平成 2 2 年 7 月 5 日 (月) 午 後 3 時 0 0 分

場 所 ホテルメトロポリタン盛岡本館

岩手県建設資材連合会

総会次第

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ
3. 来賓祝辞
4. 議長選出
5. 議 事
 - (1) 第1号議案 平成21年度 経過報告について
 - (2) 第2号議案 平成21年度 収支決算について
 - (3) 第3号議案 平成22年度 事業計画（案）について
 - (4) 第4号議案 平成22年度 収支予算（案）について
 - (5) 第5号議案 役員の改選について
 - (6) そ の 他
6. 閉会のことば

第1号議案

平成21年度経過報告について

1. 総括

わが国の経済は、中国など新興国の成長に伴う海外需要の回復により一部大手企業を中心に輸出や生産が持ち直すなど、リーマンショック後の急激な落ち込みを脱し、緩やかな回復に転じた。このような中、建設業界では住宅着工件数が100万戸の大台を大きく割り込み77万戸程度と大幅減少になった。公共投資は景気対策もあり昨年を上回って推移したが、デフレの進行、競争激化、国内需要の低迷、雇用情勢の悪化や賃金の大幅減少など更に厳しい環境が続いている。

県内経済においても、生産が自動車や電子部品関連など一部業種で緩やかな持ち直しの動きとなった。公共投資についても前年を上回って推移したが、新築住宅着工戸数は、岩手県全体で4,903戸、前年度比72%と、雇用の不安定化、賃金賞与の大幅減少などから、一気に5,000戸を割り込んで大幅減少している。このような中、県内建設業界では建設業許可業者数は減少傾向に入っているものの、ピーク時に比べると県内建設投資の減少があまりにも大きく、建設市場は需給のバランスが大きく崩れ、設計価格に対する入札の落札率も平成13年度95.1%から平成21年度は83.3%に低下するなど、過当競争が更に激化、ダンピング受注が横行し、加えて公取による談合の審決が出るなど、たいへん厳しい環境で推移した。

このような状況下にあって、岩手県建設業協会会員企業の建設労働者雇用動向をみると会員企業が雇用している雇用労働者数は、平成21年11月末現在で12,532人、平成20年11月末現在で13,154人と、前年同月に比べ622人(△4.7%)減っている。平成8年と比較すると16,426人(△56.7%)も減っている。

平成21年2月10日に公表された県の一般会計当初予算案は、平成20年度予算比0.1%増の6,588億3,700万円で、ほぼ横ばい圏内ながらも8年ぶりの前年比増となった。しかし、投資的経費(普通建設事業費)は、3.8%、43億4,800万円削減されて、1,097億9,100万円に抑制された。

県内公共工事の32.7%(平成20年度事業実績)を占める35市町村の平成21年度普通会計当初予算は、一部市町村が統一地方選挙により骨格予算として編成したことと、財政計画における財源対策などの関係があって、平成20年度当初予算に比べ、歳出予算総額は0.2%、普通建設事業費は4.3%減額されている。

2. 活動の概要

(1) 建設資材の需給機会の拡大

(ア) 大船渡漁港広域漁港整備大船渡魚市場建設・用地(人工地盤)他工事について陳情を行った。

平成21年6月8日(月)午前10時より、大船渡漁港広域漁港整備大船渡魚市場

建設・用地（人工地盤）他工事（給排水設備工事・空調設備工事）の落札者である扶桑建設工業（株）・（有）水野水道工業所・（有）三和水道工事店特定企業体の代表者の扶桑建設工業（株）盛岡営業所に陳情を実施した。

（イ）盛岡市火葬場等整備工事について陳情を行った。

平成 22 年 4 月 26 日（月）午後 3 時 30 分より福井誠司市議会議員同行のもと、盛岡市の川村裕副市長、財政部契約課畑添修一課長に面会し、地元建設資材業者の本会会員より建設資材を調達されるようご指導いただくようお願いした。また、午後 4 時より落札者である「不来方やすらぎの丘事業グループ」代表の日本国土開発（株）東北支店盛岡営業所長に面会し、地元建設資材業者の本会会員より建設資材を調達するようお願いした。

（ウ）金ヶ崎町立永岡小学校、第一小学校校舎改築工事について陳情を実施した。

平成 22 年 4 月 30 日（金）午後 3 時より、金ヶ崎町の高橋由一町長に面会し、地元建設資材業者の本会会員より建設資材を調達されるようご指導いただくようお願いした。また、4 月 26 日に第一小学校の落札者である日本国土開発（株）東北支店盛岡営業所長に面会し、同様のお願いをした。

（エ）矢巾町立矢巾中学校移転新築工事並びに岩手県市町村互助会事務所等新築工事について陳情を実施した。

平成 22 年 4 月 28 日（水）午後 1 時より、矢巾町の川村光朗町長に面会し、地元建設資材業者の本会会員より建設資材を調達されるようご指導いただくようお願いした。

（オ）盛岡第 2 合同庁舎（仮称）整備事業について陳情を実施した。

平成 22 年 5 月 6 日（木）午前 10 時に落札者である東亜建設工業（株）東北支店盛岡営業所長に面会し、地元建設資材業者の本会会員より建設資材を調達するようお願いした。

（カ）（株）久慈設計に陳情を実施した。

平成 22 年 4 月 30 日（金）午前 10 時より、（株）久慈設計の久慈竜也代表取締役社長に、盛岡第 2 合同庁舎（仮称）整備事業、岩手県市町村互助会事務所等新築工事、矢巾中学校移転新築工事、平泉中学校校舎改築工事、日本政策金融公庫盛岡支店店舗新築工事などの設計にあたり、採用メーカーに対して地元建設資材業者である本会会員を代理店として納入するようご指導いただくよう、更に受注業者に対しても、地元建設資材業者である本会会員より建設資材を調達されるようご指導いただくようお願いした。

（キ）会員よりの地元調達要請書発送依頼に応じて、会員企業からの調達について書面により要請した。

- 二戸市立浄法寺小学校移転新築工事
- 容器包装リサイクル推進施設整備工事
- 二戸警察署新築（建築・機械設備・電気設備）工事
- 岩手医科大学新築第 2 次工事

- 平泉中学校校舎改築工事
- 岩手町地域スポーツセンター建設工事
- 日本政策金融公庫盛岡支店店舗新築工事
- 岩手県市町村互助会事務所等新築工事

(2) 会員の研修の実施

(ア) 総会講演会

期 日 平成 21 年 7 月 2 日 (木) 午後 4 時 30 分～5 時 30 分
 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡本館
 講演内容 「建築設計の未来」
 講 師 (社) 岩手県建築士会
 会 長 小 川 惇 氏
 (株式会社久慈設計 代表取締役会長)

(イ) 会員研修会

期 日 平成 21 年 10 月 13 日 (火) 午後 4 時～5 時 30 分
 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡本館
 研修内容 「温故再新」 ～旧南部邸 101 年を迎えて～
 講 師 (社) 岩手県建築士会盛岡支部
 支 部 長 勝 部 民 男 氏
 (株式会社三衡設計舎 代表取締役社長)

研修会終了後、午後 5 時 30 分より、情報交換会を開催し、34 名参加した。

(ウ) 研修会並びに新年情報交換会

期 日 平成 22 年 2 月 4 日 (木) 午後 3 時 30 分～5 時
 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡本館
 研修内容 「与信管理の仕組みと重要性」
 ～公正取引委員会審決の影響を踏まえて～
 講 師 株式会社帝国データバンク盛岡支店
 支 店 長 豊 山 智 氏

研修会終了後、午後 5 時より、新年情報交換会を開催し、36 名参加した。

(3) 広報活動

- (ア) ホームページに会員専用として役員運営合同委員会の議事録などを掲載した。
- (イ) 日刊岩手建設工業新聞を通じて、総会及び研修会等を記事として掲載を依頼し、本会の存在の周知に努めた。

3. 主要業務

年 月 日	事 項
21. 6. 3 (水)	平成21年度第1回役員運営合同委員会を(協)盛岡卸センター会議室で開催した。本会の総会を7月2日(木)ホテルメトロポリタン盛岡本館において開催することを始め、来賓及び提出議案等について協議、事務局提案どおり了承された。総会の記念講演は岩手県建築士会の小川会長にお願いすることにした。
21. 6. 3 (水)	平成20年度決算について監事である太田代武彦氏と佐々木聡氏の監査を受け承認された。
21. 6. 23 (火)	岩手県建設産業団体連合会理事会並びに総会が建設研修センター3階大ホールで開催された。総会では平成20年度事業報告及び収支決算及び平成21年度事業計画及び収支予算、任期満了による役員の選任などが審議され、原案どおり決定された。木村明義会長と事務局として藤村文昭副会長が出席した。
21. 7. 2 (火)	本会の総会をホテルメトロポリタン盛岡本館において開催した。総会には平成20年度経過報告及び同年度決算、また平成21年度事業計画及び同年度予算、退任に伴う役員補選などが審議され、原案どおり決定した。総会議事終了後、60分間、「建築設計の現状とこれから」と題して、(社)岩手県建築士会会長の小川惇様よりご講演をいただいた。
21. 7. 15 (水)	「東北の社会資本整備を考える会」主催の「フォーラム：東北は訴える！」ーインフラ整備 これでもいいのかーが仙台市、江陽グランドホテルで開催され、建産連より動員依頼があり、1名の会員に出席いただいた。
21. 8. 28 (金)	平成21年度第2回役員運営合同委員会を料亭「駒龍」で開催した。会員研修会を10月13日(火)ホテルメトロポリタン盛岡本館において開催することを始め、JIA(日本建築家協会)への入会や陳情活動について決定した。会議終了後、納涼会を会費制で開催した。
21. 9. 7 (月)	岩手県建設産業団体連合会の臨時会議が開催され、木村明義会長が出席した。岩手県知事及び県議会議長要望について協議した。
21. 10. 13 (火)	平成21年度会員研修会がホテルメトロポリタン盛岡本館において開催され、(社)岩手県建築士会盛岡支部長の勝部民男様よりご講演をいただいた。会員24社33名の参加があった。
21. 11. 20 (金)	(社)岩手県建築士事務所協会の創立30周年記念式典がホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて開催され、木村明義会長が出席した。

年 月 日	事 項
21. 11. 20 (木)	平成21年度岩手県建設雇用改善推進大会が、建設研修センターで開催され、(株)藤村商会より1名が出席した。
21. 11. 25 (水)	平成21年度第3回役員運営合同委員会を(協)盛岡卸センター会議室において開催した。県営建設工事に係る独占禁止法違反事件に関する嘆願書名簿の件、(社)日本建築家協会(JIA)東北支部賛助会員入会の件、今後の陳情活動の件、などが審議された。
21. 12. 11 (木)	岩手県建設産業団体連合会の平成21年度資材対策委員会が建設研修センター2Fで開催され、藤村文昭副会長が出席した。
22. 1. 26 (火)	平成21年度第4回役員運営合同委員会を(協)盛岡卸センター会議室において開催した。新年会員研修会並びに情報交換会の件、今後の陳情活動の件、連合会運営の件などが審議された。
22. 2. 4 (木)	平成21年度新年研修会並びに新年情報交換会がホテルメトロポリタン盛岡本館にて開催され、(株)帝国データバンク盛岡支店長の豊山智様にご講演いただいた。研修会に30社37名、新年情報交換会に28社33名の参加があった。
22. 2. 27 (土)	「エコ・ハウスコンテストいわて」の表彰式が、エスポワールいわてにおいて開催された。
22. 3. 4 (木)	平成21年度(社)岩手県建設産業団体連合会事務局長会議が、建設研修センターにおいて開催され、藤村文昭副会長が出席した。
22. 3. 26 (金)	(社)日本建築家協会(JIA)東北支部岩手地域会会員作品展オープニングが盛岡大通商店街組合会館リリオで開催され、木村明義会長と藤村文昭副会長が出席した。
22. 3. 30 (火)	(財)岩手県建設業教育訓練基金平成21年度第2回評議員会が、建設研修センターにて開催され、評議員の木村明義会長が出席した。
22. 4. 13 (火)	平成21年度第5回役員運営合同委員会を(協)盛岡卸センター会議室において開催した。定時総会日程の件、今後の陳情活動について審議された。
22. 4. 19 (月)	(社)日本建築家協会(JIA)東北支部岩手地域会総会がリリオで開催され、木村明義会長と藤村文昭、及川勝司副会長が出席した。

4. 会員の状況

	前期 会員数	期中 入会数	期中 退会数	前期末 会員数	期末 退会数	期首 入会数	当期 会員数
正会員	25 (27)	0	0	25 (27)	0	0	25 (27)
賛助会員	28	0	0	28	0	1	29
合計	53	0	0	53	0	1	54

() 内は各団体の会員会社合計数

第2号議案

平成21年度収支決算について

自 平成21年 6月 1日

至 平成22年 5月31日

収 入

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
会 費	1,830,000	1,488,000	342,000	会員 24社×36,000 賛助会員 26社×24,000 未納 会員1社、賛助会員2社
雑 収 入	400,000	291,448	108,552	総会お祝い金、総会懇親会会費 研修会会費
繰 越 金	808,383	808,383	0	
合 計	3,038,383	2,587,831	450,552	

支 出

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
総 会 費	400,000	399,919	81	定時総会経費
役 員 会 費	80,000	93,090	▲ 13,090	役員運営合同会議経費(5回)
懇 親 会 費	400,000	464,372	▲ 64,372	会員研修会懇親会経費(2回)
事 務 局 費	600,000	600,000	0	事務局費
研 修 会 費	150,000	117,250	32,750	会員研修会経費(2回)
広 報 活 動 費	120,000	55,800	64,200	ホームページ利用料、メンテナンス料
通 信 費	70,000	57,034	12,966	電話料金 37,454 郵送料金 19,580
消 耗 品 費	20,000	13,650	6,350	角封筒 500枚
コ ピ ー 保 守 料	30,000	0	30,000	
リ ー ス 代	85,000	83,160	1,840	コピーリース(月6,930円)
負 担 金	150,000	211,000	▲ 61,000	建産連会費、JIA入会金、年会費他
広 告 代	70,000	63,000	7,000	新聞広告(総会時、新年年賀)
交 際 費	30,000	40,000	▲ 10,000	建築設計事務所協会30周年他
委 員 会 運 営 費	20,000	7,840	12,160	役員運営合同会議経費
慶 弔 費	30,000	0	30,000	
雑 費	20,000	9,150	10,850	振込手数料他
予 備 費	763,383	0	763,383	
剰 余 金	0	372,566	▲ 372,566	
合 計	3,038,383	2,587,831	450,552	

剰余金 ¥372,566 (普通預金 ¥372,566) 次期繰越金 ¥372,566

監 査 報 告 書

平成 22 年 6 月 8 日

岩手県建資材連合会

会長 木村 明義 殿

監 事

瓜田 武彦 
岩手県建資材連合会 

同

記

監 査 実 施 日

平成 22 年 6 月 8 日

監 査 資 料

預金通帳、金銭出納簿、収支決算書、
証拠書類

上記監査の結果

適正に処理され正確であることを確かめましたので報告します。

以上

第3号議案

平成22年度事業計画（案）について

事業計画の概要

県の平成22年度一般会計当初予算案は、平成21年度予算比6.1%と大幅増の6,987億5,700万円で、厳しい経済・雇用情勢を下支えするために、2年連続で前年度当初を上回る規模となった。

このうち、投資的経費の内、普通建設事業費は、0.3%、2億9,700万円削減されて、1,094億9,400万円に抑制されている。

県内公共事業工事の32.7%（平成20年度事業費実績）を占める35市町村の平成22年度普通会計当初予算は、一部市町村が、選挙により骨格予算として編成したことと、地方財政計画における財政対策などの関係があつて、平成21年度当初予算に比べ歳出予算総額は3.5%の増となっているが、普通建設事業費は△3.9%と減額とされている。

この中、当会の設立主旨である県内業者への需給機会の拡大のため、県に対してはもちろんのこと、35市町村に対しても、首長陳情、議会請願他を実施することとしている。更には昨年度入会した日本建築家協会（JIA）東北支部を通して、設計事務所など関係団体とも連携し、今まで以上に、強力な陳情やホームページによる周知を行うとともに、会員研修や会員相互の情報交換を実施する。また、当会自体のスリム化に取り組むとともに、運営の合理化に努めながらも当会が更に発展充実できるよう会員の増強に努力する。

1. 建設資材の需給機会の拡大等について（広報委員会）

県関係について

主な県営建設工事については、適時、適切に地元会員企業からの資材調達について、陳情を実施する。

また、その他、県営工事については、会員からの地元調達要請依頼書により、適時適切に文書による陳情を実施する。陳情のすべての結果、状況は逐次、会員への通知を実施する。

市町村関係について

県営建設工事と同様に、県内業者からの需給機会の拡大を目指して、陳情、書面による要請を適時適切に強化実施する。

地元調達要請書発送依頼について

会員からの地元調達要請書発送依頼により、事務局で速やかに要請書の発送を行う。発送結果については、全会員に通知し、会員企業の営業支援を実施する。

2. ホームページの充実（広報委員会）

本年度もホームページを充実させ当会を周知していく。またホームページの会員専用ページも頻繁に更新を実施し、各会議議事録、陳情報告などタイムリーに情報を掲示して、会員並びに関係の方々へのアクセスが増えるように努力する。

3. 会員研修の実施と会員相互の情報交換・親睦（研修・厚生委員会）

本年は研修会を、2回開催する。予定として10月と明年2月に実施する。内容は、委員会で検討する。尚、研修会費はできる限り、徴収しないこととする。（但し懇親会費は実費徴収）

定時総会終了後、講演会、懇親会を開催する。尚、費用は年会費から賄う。また、第1回研修会の終了後には納涼会、第2回研修会の終了後には新年会を開催する。すべての賛助会員に対しても案内し、情報交換と会員相互の親睦が図られるよう努める。

4. 岩手県建設産業団体連合会との連携

岩手県建設産業団体連合会（建産連）との連携を緊密にし、他の構成団体とともに、建設産業全体の発展のための活動を積極的に実施する。また、建産連からの連絡、報告、要望などを速やかに会員に伝える。

また、建産連資材対策委員会など建産連の事業に積極的に参加し、当会の目的主旨等の理解を得る努力をするとともに、協力をする。その状況については、その都度、全会員に報告する。

5. 「エコ・ハウスコンテストいわて」への支援

岩手県による「いわて省エネ・新エネ住宅大賞」を継承する形で、平成20年度から産官学の連携で「エコ・ハウスコンテスト」が行われている。岩手県立大学の佐々木隆教授がコンテストの審査委員長となり、本連合会の会員企業、建材や設備機器のメーカー、東北電力、石油連盟、盛岡ガス等が協賛し、岩手県が後援している。

Q値（熱損失係数） ≤ 1.6 を基準性能値とすることで、本県の住宅の断熱性能を一気に引き上げ、寒くない健康住宅を普及させ、CO₂ダイエットを促進させようとするもので、地域密着の当地工務店の育成支援にも通じ、この運動を積極的に支援する。

第4号議案

平成22年度収支予算（案）について

自 平成22年 6月 1日

至 平成23年 5月31日

収 入

単位：円

科 目	本年度予算額	前年度決算額	増 減 額	備 考
会 費	1,680,000	1,488,000	192,000	会 員 25社×36,000 賛助会員 29社×24,000 過年度会費 84,000
雑 収 入	400,000	291,448	108,552	懇親会会費 60人×5,000 ご祝儀他
繰 越 金	372,566	808,383	▲ 435,817	
合 計	2,452,566	2,587,831	▲ 135,265	

支 出

科 目	本年度予算額	前年度決算額	増 減 額	備 考
総 会 費	400,000	399,919	81	総会経費
役員運営会費	120,000	93,090	26,910	役員会経費
懇 親 会 費	400,000	464,372	▲ 64,372	納涼会・新年会経費
事 務 局 費	600,000	600,000	0	12ヶ月×50,000
研 修 会 費	120,000	117,250	2,750	研修会(2回分)
広 報 活 動 費	140,000	55,800	84,200	ホームページメンテナンス
通 信 費	60,000	0	60,000	電話料 40,000 郵送料 20,000 他
消 耗 品 費	20,000	13,650	6,350	事務用品、印鑑、ゴム印
コピー保守料	30,000	0	30,000	コピー保守料、用紙代
リ ー ス 代	85,000	83,160	1,840	コピーリース(月6,930円)
負 担 金	170,000	211,000	▲ 41,000	建産連・県政連負担金他
広 告 代	70,000	63,000	7,000	新聞広告他
交 際 費	30,000	40,000	▲ 10,000	
委員会運営費	0	7,840	▲ 7,840	委員会運営費用
慶 弔 費	30,000	0	30,000	会員慶弔費
雑 費	20,000	9,150	10,850	月刊建産連、送金料
予 備 費	157,566	0	157,566	
剰 余 金	0	429,600	▲ 429,600	
合 計	2,452,566	2,587,831	▲ 135,265	

第5号議案

役員の改選について

<参考>

平成20年度～21年度
岩手県建設資材連合会

役員名簿		
役職	氏名	所属団体
会長	木村明義	岩手県建築資材販売施工協会
副会長	及川勝司	東北電設資材卸業協同組合岩手支部
(事務局)	藤村文昭	岩手県管工機材特約店会
理事	佐藤良介	岩手県建築資材販売施工協会
〃	小山亥一郎	岩手県サッシ販売協会
〃	佐藤文明	東北電設資材卸業協同組合岩手支部
〃	木村雅美	岩手県建築資材販売施工協会
〃	穴口昇	東北電設資材卸業協同組合岩手支部
〃	菅原健治	岩手県サッシ販売協会
監事	太田代武彦	岩手県サッシ販売協会
〃	佐々木聡	岩手県管工機材特約店会

運営委員会名簿		
広報委員会	吉田和洋	岩手県管工機材特約店会
	木村雅美	岩手県建築資材販売施工協会
	菅原健治	岩手県サッシ販売協会
	穴口昇	東北電設資材卸業協同組合岩手支部
研修・厚生委員会	佐々木聡	岩手県管工機材特約店会
	山王朗彦	岩手県建築資材販売施工協会
	太田代武彦	岩手県サッシ販売協会
	佐藤文明	東北電設資材卸業協同組合岩手支部

「参考」

岩手県建設資材連合会会則

(名称、所在地)

第1条 本会は、岩手県建設資材連合会と称し、事務局を岩手県内に置く。

(目的)

第2条 本会は、内部組織の充実、強化により法的にも認知された法人化を目指し、建設生産システムにおける新しいルールを確立し、経営基盤の強化を図るとともに県内建設資材販売業者への建設資材の需給機会の拡大により、県内経済の活性化を図り、公共の福祉と建設産業振興に寄与し、会員相互の親睦と情報知識の交換を行ない、会員の健全な発展を図ることを目的とする。

(団体の資格)

第3条 団体の資格は、岩手県内に本社及び主生産工場を有する土木及び建築資材を販売並びに各工種の施工をする会員で構成している団体とする。

(団体の加入)

第4条 本会の趣旨に賛同し、加入の申し出があった場合は、役員会の承認を得るものとする。

(賛助会員の加入)

第5条 建設資材業界に関係するメーカーで本会の趣旨に賛同し、加入の申し出があった場合は、役員会の承認を得て加入することができる。

(役員)

第6条 本会に、次の役員を置く。

会 長 1名

副会長 2名

理 事 若干名

監 事 2名

(役員の仕事)

第7条 役員の仕事は、おおむね次のとおりとする。

会長は、本会を代表し、会務を総理する。

副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。

理事は、役員会を組織し、重要事項を審議する。

監事は、本会の会計を監査し、総会に報告する。

(役員を選任)

第8条 本会の役員は、各団体の代表者及び役員会において必要とされた者が役員となり、総会において選任する。

(役員の仕事)

第9条 本会の役員の仕事は、2年とし、再任を妨げない。

2 補欠による役員の仕事は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第10条 本会に会長の諮問に応ずる、顧問を置くことができる。

(会議)

第11条 本会の会議は総会、役員会の二つとする。

(総会の招集)

第12条 総会は年1回、会長がこれを招集する。

ただし、役員会が必要と認めたときは、臨時に開くことができる。

(総会の議事)

第13条 総会の議事は、通常会員の半数が出席し、その過半数によって決し、可・否同数のときは議長が決するところによる。

(総会の議長)

第14条 総会の議長は、総会ごとに出席した通常会員のうちから選任する。

(総会の議決事項)

第15条 総会は、次の事項について議決する。

- 1 会則の改廃
- 2 役員を選任
- 3 予算の議決及び決算の承認
- 4 事業計画
- 5 その他重要な事項

(役員招集)

第16条 役員会は、必要の都度会長がこれを招集する。

(役員会の議事)

第17条 役員会の議事は、役員半数以上が出席し、その過半数で決する。

(役員会の議長)

第18条 役員会の議長は会長が行う。

(役員会の協議事項)

第19条 役員会は、次の事項について協議する。

- 1 総会に付議すべき事項
- 2 情報の交換
- 3 その他会務執行上重要な事項

(経費)

第20条 本会の経費は、団体の負担金と賛助会員の会費をもってこれにあてる。

- 2 負担金と賛助会員の会費は、別に定める内規により運営する。

(会計年度)

第21条 本会の会計年度は、毎年6月1日に始まり翌年5月31日に終る。

附 則

- 1 この会則は、昭和 60 年 9 月 18 日から実施する。
- 2 設立時の役員の任期は、第 8 条の規定にかかわらず、昭和 62 年 6 月 1 日までとする。
- 3 平成 8 年 6 月 28 日一部改正する。
- 4 平成 10 年 6 月 24 日一部改正する。
- 5 平成 18 年 7 月 4 日一部改正する。

会則第 20 条第 2 項に基づく負担金の内規

本会運営に要する経費は、次の基準により負担する。

記

通 常 会 員

入 会 金 会員 1 名 (1 社) につき 10,000 円

会 費 会員 1 名 (1 社) につき 36,000 円

賛 助 会 員

会 費 会員 1 名 (1 社) につき 24,000 円

岩手県建設資材連合会運営委員会設置要綱

(目的)

第1 本会の内部組織の充実と会員意識の高揚を図るため、本会に運営委員会を設置し、活力ある事業運営を図ることを目的とする。

(委員会の種別)

第2 運営委員会は次の2委員会とする。

(1) 広報委員会

(2) 研修・厚生委員会

(委員会の所管事項)

第3 委員会の所管事項は次のとおりとする。

広報委員会— (1) 県など行政庁に対する陳情

要望項目の選定、期日の決定、行政庁との事前打合せ、陳情書の案文作成等

(2) 会報の発行

会報の編集、校正、企業の掲載広告、発行等

研修・厚生委員会— (1) 年間の研修計画策定、講師依頼、会員への通知、会場の確保等

(2) 情報交換会等

(3) 会員相互の親睦を図るための事業

(4) 年間の事業計画の策定、事業実施の業務等

(委員会の機能)

第4 運営委員会は内部組織の機関であり、対外的な活動はできない。

(委員会の数)

第5 委員会の委員は業種別団体より推薦された者で構成し、1委員会の委員の数は10名以内とする。

2 委員の業種別団体が推薦する数の枠は役員会において調整し決める。

(委員の任期)

第6 委員の任期は、2年とし再任を妨げない。

2 補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会の役職)

第7 委員会は委員長、副委員長1名及び書記1名の役職を設ける。

2 委員会の役職は委員の互選により決める。

(役員の職務)

第8 委員長は本会の役員に選任する。

2 委員長は委員会の招集を行なう。

3 副委員長は委員長を補佐し、委員会の円滑な運営に努める。

4 書記は委員会の事務的業務を担当する。

(委員会の経費)

第9 委員会の事務的経費として若干の経費を連合会より交付する。

2 事務的経費以外に経費を必要とする場合は事前に事務局長と協議する。

3 交付金は毎年本会の会計年度である5月31日までに支払明細書を作成し、会長に提出する。

附 則

1. この要項は、平成9年9月22日から実施する。

岩手県建設資材連合会

〒020-0891

岩手県紫波郡矢巾町流通センター南三丁目9番7号 藤村商会内

TEL 019-638-3314 FAX 019-638-3320

Eメール : fujimura@fuc.co.jp